



むなかた市議会だより

平成29年3月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>

サニックススポーツ振興財団貸付事業費

5億円を予備費に組み換え

平成29年度予算修正案を賛成多数で可決

普通会計

351億5390万円

主な事業

うち、一般会計
351億4816万円

平成29年第1回宗像市議会定例会が、2月27日から3月24日までの期間で開催され、市長提案の議案38件、議員提案の意見書1件、発議1件について審議を行いました。
本定例会では、平成29年度の予算を審議し、サニックススポーツ振興財団貸付事業費5億円を予備費に組み換える修正案を賛成多数で可決しました。
1ページに、一般会計予算の主な事業内容と質疑、2ページに予算委員会でのサニックススポーツ振興財団貸付事業費の審査について、3ページに議員の賛否について掲載しています。

世界遺産 関連事業費

沖ノ島

世界遺産保存管理事業費	3,639万円
世界遺産公開活用事業費	4,152万円
世界遺産学習推進事業費	452万円

など
カリキュラムの作成、モデル授業の実施、副読本の製作などを行い、市内小・中学校で世界遺産学習が実施できる環境を整える(世界遺産学習推進事業費)。

全国豊かな 海づくり大会開催事業費

豊かな海づくりフェスタ



3,358万円

天皇皇后両陛下ご臨席のもと開催される国民的行事で全国に水産資源の保護管理を発信し、漁業の振興を図る。

観光物産館 整備事業費

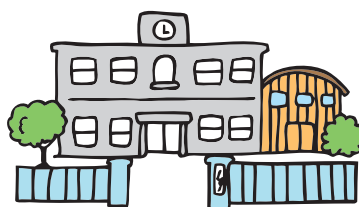
道の駅むなかた



4億5,204万円

駐車場、多目的広場などの拡充と販売品の再編、土産物販売強化による売り上げの増加を図る。

小中学校施設 改修事業費



2億4,933万円

小・中学校の施設改修、普通教室への空調機・太陽光発電設備などに着手する。

教育・保育施設型 給付事業費



21億6,566万円

施設整備などを進め、多様な保育ニーズに対応しながら、待機児童ゼロを目指す。

市民スポーツ 活動推進事業費



3,269万円

スポーツサポートセンターの組織設立の準備を行うため、運営に必要な備品などの購入やソフト面のモデル事業を実施する(スポーツサポートセンター事業費783万円)など。

主な質疑

1 世界遺産関連事業費 (世界遺産学習推進事業費)

問 世界遺産学習で使用する副読本の執筆や監修は誰がするのか。
答 市内の小学校や福岡教育大学の先生、市の世界遺産登録推進室、郷土文化課、図書課、指導主事、社会教育主事らが集まって、副読本の製作に当たっている。最後の仕上げとして海の道むなかた館の西谷館長に監修してもらう予定である。

2 全国豊かな海づくり大会 開催事業費

問 豊かな海づくり大会が継続的にお金を生み出す仕組みにつながるのか。
答 大会のPRにあわせて宗像の水産物・農産物などの特産品や立ち寄り先などの観光PRを考えている。将来に対する交流人口の増加や消費拡大につなげていきたい。

3 観光物産館整備事業費

問 道の駅の出入口は、事故が起こりやすく、危険だと考えるが今後の対応は。
答 整備の中で拡張し、渋滞時と平時で分けて対応できないか、警察、土木事務所、警備会社、地元などと協議している。



4 小中学校 施設改修事業費

問 調達する太陽光パネルはどのようなものか。
答 社会貢献の面で株式会社サニックスからの寄付を受ける予定である。製品に関しては、これから協議していく。



5 教育・保育施設型 給付事業費

問 待機児童についてどこまで定員増で対策を講じるのか。
答 29年度から31年度までの間に、約240人の増を計画している。今後も、新規の園を含めて、定員増を図っていききたい。



6 市民スポーツ活動 推進事業費

問 スポーツサポートセンター事業のソフト面のモデル事業実施は、具体的にどういったものか。
答 子どもの体力向上プログラムや短期の体操・陸上のプログラムを考えている。また、情報発信としてホームページの活用などを考えている。



予算第1特別委員会

サニックススポーツ
振興財団貸付事業費

5億円

予備費に組み換える
修正案を可決

29年度一般会計予算の審査を行った予算第1特別委員会では、財団法人サニックススポーツ振興財団（以下、「財団」）への貸付金として計上された5億円の事業費について、長時間にわたり活発な質疑が行われました。質疑後には、貸付事業費全額を予備費に組み換える修正案が提出され、賛成多数（賛成6・反対2）で可決し、29年度当初予算では、貸付を行わないこととなりました。討論では、発言をした8人の委員から、さまざまな意見・要望が出されました。

サニックス
スポーツ振興財団
貸付事業費
（5億円）

財団が株式会社グローバルアリーナに管理委託している、多目的スポーツ総合施設グローバルアリーナ（以下、「GA」）の新たな宿泊棟建設について、その事業を支援するため、市が財団に事業費の2分の1である5億円を無利子で貸し付けるものです。

修正案の提案

委員会の中で、財団への貸付金5億円については妥当ではないと判断されるという理由で、全額を減額して予備費へ組み換える修正案の提案が委員から出され、賛成多数で可決されました。

委員の意見・要望

（修正案に賛成）

本市の最高意思決定機関である庁議に諮ることなく、市長、副市長をはじめとする少数の職員で構成する都市戦略会議で、議事録も残さず意思決定を行ったことは問題だ。銀行の融資は調整がつかなかったことも明らかになり、市が貸付を行うリスクが大き過ぎるため、市民の理解は得られない。

これからの時代は、市が実情に合わせて判断を行うべきであり、民間企業に貸付をすること自体は否定しない。しかし、前例がないからこそ慎重な判断が必要。公益性が大きな議論となったが、その基準はつきりせず、まだ多くの議論の余地がある中では、貸付に賛成できない。新棟の建設着工に間に合う時期までに十分な議論の場を設けることができれば、より前向きな検討ができたのではない。

貸付については公益性があることから、他の方法で資金調達に関する支援をする選択肢もあったと考えるが、今回の説明では納得するに至らなかった。今後、再度予算を提案することがあれば、専門家や市民公募の委員で構成する審議会ですら十分議論、検討をしてほしい。

（修正案に反対）

庁議に諮ることなく、貸付予算の提案をしているが、本来は民主的な議論を経て議会への提案をするべきである。都市戦略室と庁議との間の機能的な問題は、執行部にしっかり考えて欲しい。銀行の融資は調整がつかなかったという経緯もあり、自治体が行う融資として誰が責任をとるかも不明確である。財団は収入のほとんどを株式会社サニックスからの寄附に頼っている状況から考えても、この貸付は妥当ではない。

GAが本市に貢献してきたことは高く評価するが、昨年12月議会でもGAの地区計画変更が提案されており、既にその時点で貸付金の議論がなされていたとも考えられることから、議会に対する執行部の誠実さが欠けていると感じる。貸付を市長が決めた背景には、個人的な友情関係やこれまでのGAとの関係があると感じざるを得ない。行政は市民の生活を守ること

GAの公益性は非常に高く、新棟を建設することで、さらなる価値を本市にもたらす。貸付予算を提案するまでの意思決定などに問題はあったが、ビジネスチャンスを逃さないために、今までは違うスピード感も必要。GAは採算を考えず、青少年育成のためにつくられた施設である。銀行からの融資は受けられなかったが、市がGAには価値があると判断し、特別なルールで貸付を行うことは妥当である。土地などリスクの少ない担保もあり、ラグビーワールドカップキャンプ地誘致などの時代の流れに乗った、青少年育成などの大きなリターンを得られる投資である。今のまま何もしないのもリスクであり、今は思い切った投資をするための分岐点である。

GAの事業は、日本全体にとって価値がある。本市が日本をリードする存在になるという波及効果を生むことから、大きな公益性があると考ええる。

主な質疑

問 この貸付は、市の最高意思決定機関である庁議に諮って決定された

のではないのか。要点筆記や会議録はないのか。

答 貸付については、庁議には諮っておらず、市長からの特命事項に迅速に対応するために設置されている都市戦略会議で決定された。都市戦略会議で協議した項目は記録しているが、会議録などはない。本市はラグビーワールドカップのキャンプ地誘致にも取り組んでおり、市の未来への投資として貸付をする判断した。

問 財団に貸付をする公益上の必要性をどのように位置付けているのか。

答 財団が営利を目的とした組織ではないこと、特に青少年のスポーツ分野で、市に多大な貢献をしていたにいてることから、公益上の必要性があると判断している。

問 何をもとにして、貸付の判断を行ったのか。

答 株式会社グローバルアリーナから提出された将来の事業計画を、公認会計士、税理士などの意見を聞きながら評価し、判断を行った。また、簿価14億円の土地を貸付の担保とする予定である。

問 市長は、貸付は市の未来への投資だと説明したが、投資のリターンは何だと考えるか。

答 子どもの引率者、高齢者、障がい者、トップアスリートの宿泊に関する現状の課題に対応できることなどである。

問 財団は銀行に融資の相談をしたのか。

答 融資の相談はしたが、利率や期間などの条件が整わず、融資の話はまとまらなかったと聞いている。

グローバルアリーナ

地域の子どもの豊かな体づくりを図り、スポーツや文化を応援するために設立された財団法人サニックススポーツ振興財団の活動を支える総合的なスポーツ・文化施設。スポーツの国際大会や交流をテーマにした催しや文化イベントが開催されている。



GAでの青少年ラグビー大会の様子



予算第2特別委員会

平成29年度特別会計・
公営企業会計予算を可決

特別会計

230億2035万円

公營企業會計

41億6779万円

国民健康保険特別会計

国民健康保険税のうち介護納付金分について、介護保険第2号被保険者（以下「2号被保険者」）数の減少により、所得割の率を0.3%、均等割額を3000円引き上げる改定を行う。



問 2号被保険者数の減少は社会的な要因であるため、財源の不足分は政策的な判断により市が補てんすべきではないか。

答 国民健康保険だけでなく、他の健康保険の2号被保険者にも負担があり、国民健康保険だけ手厚くすることはできない。今回の改定は国民健康保険法の規定に沿ったものである。

問 一人当たりの医療費が増加している要因は、高額な薬剤が使用されるようになったこと、医療の高度化、高齢化などが考えられる。

渡船事業特別会計

▽28年度から2力年度で新船の建造事業を行っており、29年度はそのうち4割の予算を計上する。



主な質疑

問 世界遺産登録による観光客増加の対応策は、適宜、業務体制の見直しを行い、補正予算で対応していく。

● ● ● 提出議案と議決結果 ● ● ●

3月定例会で審議し、同意、可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議 案 名	内 容
宗像市附属機関設置条例の一部を改正する条例	宗像市歴史的風致維持向上計画策定委員会、宗像市世界遺産保存活用検討委員会を設置し、宗像市史跡等保存管理推進委員会を廃止するもの
宗像市大島交流館条例の制定	大島地区の有する文化遺産の普遍的価値に対する理解促進および同地区の観光資源等を活用した交流による離島振興を図るため、宗像市大島交流館を設置するもの

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議 案 名	議決 結果	議員 氏名	岩 岡	上 野	井 浦	笠 井	小 林	吉 田	森 田	安 部	井 上	岡 本	北 崎	伊 達	神 谷	福 田	小 島	新 留	石 松	植 木	末 吉
		良	崇 之	潤 也	香 奈 枝	栄 二	剛	卓 也	芳 英	正 文	陽 子	正 則	正 信	建 一	昭 彦	輝 枝	久 味 子	和 敏	隆 信	孝	
宗像市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
平成29年度宗像市一般会計予算 ・ 委員会の修正案 (サニックススポーツ振興財団貸付事業費5億円を減額し、予備費を5億円増額する)	可決		○	○	◆	○	◆	◆	◆	○	◆	○	○	◆	◆	◆	棄権	○	○	○	○
平成29年度宗像市一般会計予算 ・ 修正部分を除く原案	可決		○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	◆	○	◆	◆
平成29年度宗像市国民健康保険特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
平成29年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
平成29年度宗像市介護保険特別会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
平成29年度宗像市下水道事業会計予算	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
玄海原発の再稼動に反対する意見書の提出	否決		○	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	棄権	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

市議会のくわしい
情報や議会中継は
ホームページを
ご覧ください。

宗像市議会

検索



ホームページQRコード

お問い合わせは
議会事務局へ
TEL0940(36)1119

平成28年度
政務活動費収支報告書を
公開します

**6月中旬
公開予定**

政務活動費とは議員の市政に関する調査研究、その他の活動に必要な経費として交付されるものです。

宗像市では、議員個人に月額2万2千円(年額26万4千円)を交付しています。

交付を受けた議員は、収支報告書を提出しなければなりません。宗像市議会では平成23年度から領収書を添付した収支報告書を公開しています。

収支報告書の閲覧の方法

- ①議会のホームページで閲覧する
- ②市役所3階の議会事務局で申請をして閲覧する。



※予算第1…一般会計
予算第2…特別会計・企業会計

日程	内容	6/2	8	9	13	14	15	16	19	20	21	22	27
		金	木	金	火	水	木	金	月	火	水	木	火
		本会議(議案上程、提案理由の説明)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問、大綱質疑)	本会議予備日	総務常任委員会	社会常任委員会	建設産業常任委員会	予算第1特別委員会(※)	予算第2特別委員会(※)	委員会予備日	本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)

(予定)
日程

6月定例会の

▼一般質問の内容は、開
会3日前に議会ホーム
ページに掲載します。
▼請願の提出締切日は5
月26日（金）です。
▼本会議と委員会は、市
内の公共施設やホーム
ページで中継していま
す。スマートフォン・
タブレット端末でもご
覧いただけます。



会派の主張

会派とは、市政に対して同じ考えを持った議員の集まりです。

宗像市議会には、平成29年4月1日現在で、9つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

※宗輝会(平成29年3月24日発足)については8ページに掲載

宗像志政クラブ

代表 伊達 正信

市民の声を聞き、
未来志向の
会派を目指す

今年「神宿る島」宗像、沖ノ島と
関連遺産群の世界文化遺産登録可否
が決定し、三大行幸啓の一つである
豊かな海づくり大会が行われる年で
あります。私たちは議長を擁する8
人の最大会派としてこの時流を生か
して未来の宗像を創る責任を果たし、
後世に継承してまいります。

本市の、世界に羽ばたく子どもを育
成するグローバル人材育成事業は未
来への投資です。過日ご逝去された
宗政伸一氏が80億円もの私財を投じ
たグローバルリーナの理念はこの
事業を先行する貢献といえます。こ
の想いを受け継ぐべく、力を注いで
まいります。

また、若者が理想と希望を抱き、
この輝かしい郷土の歴史文化の中で
温かい家庭を築いていけるよう住宅・
雇用・所得・早婚化政策などの実現に
向け大胆に挑戦してまいります。併
せて、子どもは国の宝、高齢者は国
のかがみです。充実した子育ての環
境整備と高齢者の医療・介護の充実
に努めてまいります。

これからも郷土への誇りと未来へ
の夢を抱き、さらなる発展を目指し、
前を向いた建設的な会派を目指しま
す。



【後列左から】小林栄二議員、井浦潤也議員、吉田剛議員、井上正文議員、森田卓也議員
【前列左から】神谷建一議員、伊達正信議員、花田鷹人議長

市民連合

代表 福田 昭彦

健全財政維持のため
行財政改革を推進します

市民連合はこれまで2人の議長を輩
出し、宗像市の行財政改革や議会改革
を中心となって推進してきた会派で
す。ところで3月議会の争点であった
サニックススポーツ振興財団への5億
円の融資が中止になったことは本市に
とって甚だ残念なことでした。これま
で同財団が市に支払った固定資産税だ
けでも約8億円、160人の従業員の
雇用を含めた経済効果は年間で約7億
円です。スポーツを通して国際交流事
業を市に代わって担っていただいた同

財団の多大なる功績は計り知れないの
ですが。



福田昭彦議員

ふくおか市民政治ネットワーク

代表 笠井香奈枝

子育て・介護を

ひとりぼっちにしないまちに

ふくおか市民政治ネットワークは、
26年前から女性を市議会に送り続け宗
像市を「住みたいまち」にするため活
動しています。何よりも「いのち」が
最優先にされ、子どもたちの未来に責
任が持てる社会を目指しています。

私たちは、宗像市を、子育て・介護
などで孤立することなく誰もが安心し
て住み続けられるまちにしたいと思っ
ています。

議会で得た情報を公開し、市民のみ
なさんの声を聴き、一緒に考えていき



笠井香奈枝議員

ます。今後も暮らしと議会をつなぎ、
市民目線で活動を進めていきます。

にほんきょうさんとう
日本共産党

代表 末吉 孝

市民に寄り添う
市政実現をめざして

安倍政権の暴走政治に国民の怒りが高まり、最近ではモラルハザード（倫理喪失）政権の実態が明らかになっています。自衛隊の南スーダン派兵問題では、戦闘の実態を記録した「日報」を「破棄した」、森友学園問題では、国有地の異常な払い下げについての「交渉記録は破棄した」と答弁するなど、都合の悪い情報は闇に葬り、国民の知る権利を奪っています。この暴走政治を変えたいと、市民と野党の共闘の動きが全国で広がっています。今その「要（かなめ）」の役を期待されているのが日本共産党です。

新留・植木・末吉の3人の市議団は、いずれもベテラン議員ですが、常に初心に立ち返り、市民要求を実現し、住民が主人公となる市政、一人一人の市民が大事にされる市政実現を目指して頑張ります。



【左から】末吉孝議員、新留久味子議員、植木隆信議員

こうめいとう
公明党

「市民目線・生活者視点」で市政をチカラ

代表 石松 和敏

公明党は、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立党精神を堅持し、住民福祉の実現を目指し活発に活動を展開。3年前には結党50年の佳節を迎え、特に平和・福祉・環境に関する政策に長けたクリーンな政党として、どこまでも住民の側に寄り添っています。

私たち議員は、庶民の代表として、「市民目線」「生活者の視点」を信条に地域や市民の中に入り「生の声」を聞くことにより、地域に根を張ることを目指しています。市政に数多くの政策提言を行い、多くの成果が実現。プレミアム付き商品券、学校トイレの改修、乳幼児医療費無償化拡充、シエネリック医薬品の推進などです。

今後とも是非々の立場から、市政運営をチェックする役割を十分果たしてまいります。



【左から】岡本陽子議員、石松和敏議員

とびうおクラブ

「元気なまち」「元気な市民」のために

代表 北崎 正則

私たち、とびうおクラブは、超提案型な行動力を誇る安部芳英、熱き想いで直球勝負の北崎正則、2人の会派です。私たちは、市民目線・市民感覚を大切にしながら、まずは、聴かせていただき、次に解決に向けて知恵を絞り出し、その策を市政へと提案させていただくプロセスを大切にしております。

主な取り組みは、

- スポーツと健康づくり
- スポーツ施設の整備や健康づくりの推進
- 観光と地域産業の活性化
- （世界遺産登録や道の駅の充実、農業、漁業の支援など）
- 教育の充実を目指す
- （学習支援体制や特別支援教育の推進）です。

今後とも会派としての地域座談会、各種団体との意見交換会、視察研修などを通して、積極的に取り組んでまいります。



【左から】安部芳英議員、北崎正則副議長

にほんいしんかい
日本維新の会

「強く自立した宗像」を築く

代表 岩岡 良

日本維新の会は「個人・地域・国家の自立」という政治理念のもと、2012年に結党。統治機構改革により、地方のことは地方が決める真の地方分権の実現を目指し、地方から国を変えてまいります。

私たちは選挙の時だけ聞こえの良いことを訴えることなく、「逃げずに真正面から」常に是非々の立場を貫きます。

未来に負担を先送りせず、本来に必要な支援を可能とするため、限りある財源の使途を厳しく監視し、徹底した行財政改革に挑んでまいります。



岩岡良議員

しみんいちのかい
市民自治の会

市民と議会がつながる対話と自治のために

代表 上野 崇之

民主主義の制度と実践の間には溝があります。地域社会のルールや予算について、みんなが直接参加して決定・実行していくことが理想だとしても、仕事や家事などで関われない人も多くいます。

そんな人々に代わって議会が決めていく代議制は、溝を越える方法ですが、それだけでは溝が埋まりません。まずは市民と議会が対話し、つながること。その過程で多様な意見や人間関係の溝を埋めて、協力・共生していくこと。市民自治の会では、そうした実践を重視しています。



上野崇之議員

※1 G A II グローバルアリーナ

代表質問

代表質問とは、各年度の市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです。

○平成29年2月28日に、4つの会派を代表する議員が、平成29年度の施政方針に対して質問を行いました。

○平成29年度の施政方針は、4月1日号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。

宗像志政クラブ



代表質問者 伊達 正信

施政方針について

問 辺津宮周辺から神湊港へと結ぶ道路は、景観保全とともに観光の面からも植栽や無電柱化など、重点的に整備するべきと思うがどうか。

答 県の事業で神宝館から海の道むなかた館までの無電柱化を進めている。引き続き、県と区間の延伸や、修景促進について協議したい。

問 全国豊かな海づくり大会を機に漁業振興を期待するが、漁獲高、漁業集落人口の減少など課題も多い。本市は長期展望の中で漁業のあり方をどのように描き、導こうとしているのか。

答 藻場再生などの資源回復、水産物のブランド化、養殖などに着手し、時代のニーズを踏まえることで持続可能な水産業が可能と考える。

問 学校の普通教室の空調機設置には財源出動に慎重であった本市が、なぜ方向転換ともとれる実施に踏み切ろうとしているのか。

答 他自治体の設置状況などを鑑み、総合的に判断して導入に踏み切った。



宗像大社から神湊方向を見た県道

日本共産党



代表質問者 末吉 孝

市民置き去りの施政方針

問 休耕地への竹林被害が深刻だが施策はあるか。

答 農地所有者に国の耕作放棄地を再利用するための交付金を紹介するなどしながら、被害の防止や抑止に努めていきたい。

問 今年の施政方針はこれまでと違い、世界遺産登録と全国豊かな海づくり大会が中心になっている。農業政策については8行だけで、減反政策が打ち切られる今年度からこの対策が全く無い、商工業政策に全く触れていないなど、市民置き去りの施政方針となっているのはなぜか。

答 大きな事業が控えているため、その内容を詳しく述べているが、これまでと何ら変わりない。重要な施策として農業規模の拡大に取り組み、商工業についても関係団体と一丸となって地域の活性化につなげたい。

問 喫緊の課題である子どもの貧困に対する具体的な支援策が述べられていないのはなぜか。

答 29年度に実態調査と支援ニーズの調査・分析を行い、その結果を基に具体的な支援策を検討する。



稲作の様子

とびうおクラブ



代表質問者 北崎 正則

施政方針について

問 スポーツ・運動による市民健康活動についてどう考えているのか。

答 スポーツ振興計画に基づき事業を行っている。

問 野球やサッカーなどの球技場整備にアクションを起こすべきと考えるがどうか。

答 新たな施設をつくるのは非常に難しいため、既存の施設を有効活用する必要がある。

問 学校や民間の施設を活用する方針である。

問 漁業・農業の抱える問題を解決するために道の駅に期待する役割は。

答 道の駅で水産物や農産物を買ってもらうことで、漁業者、農業者の所得向上に貢献できると期待している。



代表質問者 石松 和敏

公明党

持続可能な自治体経営の継続を

問 GA(※1)の新規宿泊施設建設に対して5億円をサニックススポーツ振興財団に貸し付けることが、公益上必要なのか。また、貸付の根拠となる要綱などは。

答 リスクをできるだけ回避するため、親会社の経営状況や資産、貸付金の妥当性など、慎重な審査が必要。また連帯保証人

問 GA(※1)の新規宿泊施設建設に対して5億円をサニックススポーツ振興財団に貸し付けることが、公益上必要なのか。また、貸付の根拠となる要綱などは。

答 GAは開業以来、スポーツの振興をはじめ、青少年の健全育成や国際交流の推進など、大きな貢献を果たしてきた公益性の高い施設である。今回、GAの取り組みの拡



グローバルアリーナのロッジ(宿泊施設)



道の駅むなかた

答 漁業においては、ブランド化による販売促進や高付加価値化。農業においては、安く生産して高く販売すること。

問 他市にはない、宗像の素晴らしいさを伝えるための教育の特徴は。

答 義務教育の9年間で世界遺産学習を行う。

えているのか。

平成29年3月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成29年3月1日から3月3日の3日間にわたって、15人の議員が合計27項目の質問を行いました。

○質問を行った順に掲載しています。

○掲載項目などは質問を行った議員が選択しています。

○質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは5月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。

問 28年度に「子ども・若者支援センター（仮称）」の整備に向けた検討が行われたが、そこで最も必要な支援は何か。センターが果たす役割と目標は。

答 子どもの置かれた環境や育児の課題を早期に発見し、必要な支援を始めることが大切である。早期に新生児訪問を実施することが、子どもの成長に大きく影響を与える産後つつの早期発見に有効的な手段であると考えている。今後は妊娠期からの支援体制を強化する予定である。



子ども・若者支援センターの充実を
公明党／岡本 陽子



問 現在小中一貫教育は、第Ⅱ期がスタートして2年が経過しているが、進捗よく状況と成果は。

答 第Ⅱ期は、学校、地域、家庭が一体となつて子どもを育てるシステムづくりを目標に掲げ、学校運営評議委員会を評価中心の会議から、提案型の会議に変更したこと、地域と連携した事業展開につながっている。また、9力年を通して指導できるため、学力調査では全ての教科で全国平均を上回っている。



小中一貫教育の進め方について
宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 子どもたちに世界に誇れる貴重な文化遺産の価値を伝えていく取り組みはあるか。

答 学校での世界遺産学習を検討している。沖ノ島を学ぶだけでなく、宗像を誇りに思い、愛する子どもを育てたいと昨年6月に世界遺産学習検討委員会を立ち上げた。全国にあまり例のない小中一貫した世界遺産学習のあり方を検討している。



世界遺産登録に向けたまちづくり
宗像志政クラブ／小林 栄二



宗像大社（辺津宮）

問 水田の暗渠排水（※3）設備の老朽化により収穫量が半減すると聞く。今後の支援策は。

答 国の補助を活用し、JAと共同で、30年度から設備更新や新設に着手する予定。



宗像市の農業振興計画について
宗像志政クラブ／神谷 建一



問 簡易宿泊法が緩和され、農村の地域資源を生かした体験型農家民宿・民泊がやりやすくなった。市の推進の考えは。

答 都市の住民や外国人から人気があることは認識しているが、農家の受け入れの問題もある。先進地の調査を行い、できる限り支援していきたい。

問 課題の洗い出しや専門のコーディネーターによる行事の整理、規約の見直しが必要では。

答 現在その役割はコミュニティ協働推進課職員が担っている。自治会の中にその機能を持つ人がいれば理想的だが、多様な視点で検討したい。



自治会の負担を軽減するために
とびうおクラブ／安部 芳英

問 リフォーム工事、福祉関連の住宅改修に併せて耐震改修する場合の補助率を上乗せし、耐震化率の向上につなげては。

答 補助率の上乗せは耐震化の推進に効果的であると考えている。先進自治体の調査をして検討したい。



問 GAは子どもたちにどのように貢献しているか。

答 体力の向上をはじめ、トップアスリートと直接触れ合うことで、子どもたちの夢・希望・感動の醸成にもつながっている。



グローバルリーナの価値は
宗像志政クラブ／吉田 剛

問 グローバル人材育成事業に与えるメリットは。

答 国際交流を体験する機会となっており、世界に視野を広げる大きなきっかけになっている。



グローバルリーナ

問 新たなコミュニティ運営協議会が学童保育所の指定管理者になった場合は、最初の指定管理期間を2年にしては。

答 吉武地区と同様に2年間のモデル事業期間を設けるかは検討中だが、2年間で課題の有無を確認する検証作業は必要であると考えている。



学童保育事業の指定管理について
ふくおか市民政治ネットワーク／筭井 香奈枝

問 受動喫煙防止対策として、市民体育館の敷地内を禁煙にしては。

答 学校以外での市の施設では全面禁煙は行っており、他の施設と歩調を合わせる予定である。今後、国の指示に従い対応していきたい。



問 スポーツ施設の一元管理の進捗よく状況は。

答 ふれあいの森を除く全てのスポーツ施設がネット予約できるようになった。ふれあいの森も平成30年4月から一元管理の予約システムに組み入れる予定である。



スポーツで健康に暮らせるまちを
宗像志政クラブ／森田 卓也

問 マイナンバーカードを活用した実証事業に向けて協議検討中である。

答 市民の健康づくりの拠点にもなる総合スポーツセンターの整備は、いつ頃検討されるのか。

答 諸条件が総合的にそろった場合、早い時期に整備したい。



※2 ハイリスクアップローチ健康障がいを引き起こす危険因子を持つ集団のうち、危険度が高いものに対して、その危険度を下げるように働きかけ、病気を予防する方法。
※3 暗渠排水＝水田などの過剰な水分を排水するため、地下に埋設した管を用いて排水を行うこと。



ふれあいを育む交通まちづくりを
市民自治の会／上野 崇之

問 策定中の地域公共交通網形成計画の狙いは。
答 市民とまちの活力を支える、望ましい公共交通網のあり方を、立地適正化計画などと連携させて定めるものである。

問 使いやすいバスにするための改善を、住民と協働でどう進めていくか。
答 市民ニーズに応じて、ふれあいバス・コミュニティバスの運行を見直してきたことで、公共交通空白地域解消と利用者増につながっている。今後、高台などの不便地区対策も検討していく。

問 徒歩とバスなどを組み合わせ、人や自然とふれあってもらうことで、外出や移動そのものを楽しくでもう工夫は。
答 地域資源の周遊ルート化のほか、バス待ち環境や路線図・観光マップの改善を検討していく。

その他の質問

東郷駅改修後の観光案内の対応は。



ふれあいバス



物語のある宗像の魅力を未来へ
宗像志政クラブ／井上 正文

問 豊かな海づくりを目指すための取り組みと水産業の活性化策とは何か。
答 クラウドファンディングで藻場再生事業の資金調達を行う。また、水産物のブランド化や特産品開発を拡充し、新たに通信販売事業に取り組む。

問 大島・地島の活性化と暮らしの維持向上策は。
答 大島は観光の充実や特産品の開発などにより来訪者の消費行動を促進し、地島は付加価値を高めた特産品開発、イベント

問 トの開催などで活性化につなげたい。
答 赤間宿通りの無電柱化（電線の地下埋設）と迂回道路などの整備方針は。
問 道路の管理者である県との協議をはじめ、赤間宿通り活性化協議会で引き続き議論を深めたい。
その他の質問 城山頂上の景観改善、保育士有資格者の子の保育所入所の優先調整、ため池管理の課題解決など。



城山頂上



小・中学校での給食費の補助を
日本共産党／植木 隆信

問 市長は、子どもの貧困の実態についてどのような把握しているか。
答 経済の状況により、子どもがいる家庭が経済的に苦しくなっている面はあると思う。

問 憲法26条に義務教育は無償とある。子どもの貧困が社会問題となつていくことを背景に、学校給食費を補助する自治体が急速に増えている。本市でも、一部補助も含めて検討できないか。
答 約6億円の給食費の無償化は本市では厳しい。一部補助についても現在のところ考えていない。

問 い。学校の全体的な環境整備や学力向上などに財源を充てるべきと考える。
道路の危険箇所の対策を
問 歩行者や自転車利用者にとって危険な箇所の早期改善を求める。
答 安全性を考慮し、財源の範囲内で可能な限り早期の対応を目指す。



宗像市の防災施策について
市民連合／福田 昭彦

問 市は宗像市防災対策基本条例を施行し、総合的に防災施策に取り組んでいる。災害が発生した場合、市は地域防災計画に基づき災害対策本部を直ちに設置し、自主防災組織と連携しながら全市の被害状況を的確に把握して市民の安全を確保しなければならない。昨年の熊本地震発生時に自主防災組織が果たした機能を発揮できたのかを問う。

答 市の自主防災組織では、日頃から防災に関する各種訓練、講座、研修など地域住民の防災意

問 識、防災能力の向上につながるための活動を地道に行っているが、また全体の意識向上に至っていない。そのため各地域の体制強化やレベルアップのために防災士養成講座の開催や防災指導士のフォローアップ研修など、自主防災組織の実力向上のためさらに努力していく。



防災マップ

編集後記

私にとって、今回が2度目の議会となりました。新人議員として緊張しながら一般質問に臨みますが、議会はそれだけではありません。提出される議案に対して、市民の代表として賛否を投じます。この決断が宗像市の未来を決めると思えば、その責任は重大です。今回はそれを特に痛感させられた議会でした。
副部長 岩岡 良



安心・安全の学童保育を求める
日本共産党／新留 久味子

昨年7月、(株)テノサポートが指定管理者である学童保育所で、指導員による体罰事件が発生。同社は過去にも体罰事件などで、改善勧告の行政処分を4回受けている。

問 今回の体罰は、報告義務および子ども基本条例を遵守しているのか。
答 子ども基本条例第4条では、安心して生きる権利が保障されており、体罰事件は、権利侵害に当たると考えている。

交通弱者対策の充実を
問 出先からコミュニティバスで帰る際、路線



コミュニティバス時刻表



公正公平な生活保護制度について
日本維新の会／岩岡 良

問 本市における生活保護の現状は。
答 生活保護受給者数は933人で、その扶助費総額は約16億円。

問 生活保護の不正受給の有無は。
答 27年度で18件。主たる不正事由は収入などの申告義務違反である。

問 自立支援対策は。
答 同行面接などの就労支援や就労に必要な基礎能力を形成するための就労準備支援事業を行っている。



返納後の施策について



男女共同参画社会確立に向けて
宗像志政クラブ／小島 輝枝

問 男女共同参画推進センターゆいの役割は。
答 市の委託により、専門性を生かした講座を実施。男女共同参画週間講演会やゆいフェスタにおいても市と連携しながら、啓発に取り組んでいる。

問 庁内の男女共同参画への意識高揚は図られているか。
答 男女共同参画プランに関わる部署にはヒアリングを通し、年々浸透していると考えている。今後も職員への啓発や研修を強化し、意識高揚につなげたい。

問 ネット上でさまざまな



ゆいフェスタ



輝く宗像市を目指して

輝く宗像市を目指して会派名を宗輝会としました。

地域間競争の時代、きらりと光る宗像市になることが若者の人口を増やすのだと思います。少子化対策、高齢者福祉、障がい児支援策、離島振興策など、問題は山積です。

一人会派になりましたが、是々非々をモットーに市政に真剣に向き合い、市民のみなさんの代弁者として自由闊達に議員活動にまい進してまいります。みなさまのご意見をお寄せ下さい。



小島輝枝議員

代表 小島 輝枝

※小島輝枝議員は3月24日、宗像志政クラブを脱退し、宗輝会を立ち上げました（一般質問実施日3月3日は、宗像志政クラブ在籍）